

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	栗津 勤
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	吉丸 尚宏

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策2	生涯スポーツの普及・振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	400,000 (R2)	419,820 (R1)	424,295 (R2)	A
施策3	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (R2)	2,660 (R1)	2,756 (R2)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み					評価				
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性		
					(年度)	(年度)								
施策2	課題1	生涯スポーツ活動の推進	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	400,000 (R2)	419,820 (R1)	424,295 (R2)	1	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	8,000	2,148	A	継続
								2	いしかわスポーツマイレージ事業	県民	5,500	4,906	B	拡大
								3	いしかわトップスポーツチーム地域貢献協働推進事業	県民	10,200	6,795	A	継続
施策3	課題1	競技力向上対策	国民体育大会男女総合成績	順位	20位台以内 (R2)	23 (R1)	中止 (R2)	4	選手強化事業	強化指定選手	192,900	141,825	C	継続
								5	高校生強化事業	指定運動部	22,200	19,870	B	継続
								6	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	5,065	B	継続
								7	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,000	1,770	B	継続
								8	いしかわジュニアアスリート発掘事業	小学生	2,400	3,608	B	継続
								9	いしかわアスリートキャリアサポート事業	県内就職希望者	640	137	C	継続
								10	障害者アスリート支援事業	障害者アスリート	2,000	36	B	見直し
		運動能力測定会参加人数	人	600 (R2)	320 (R1)	294 (R2)								
		県内企業へのアスリート就職者数	人	10 (R2)	5 (R1)	5 (R2)								
		申請件数	件	20 (R2)	25 (R1)	7 (R2)								

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	第2期石川の教育振興基本計画		

作組	織	スポーツ振興課			
成職	氏名	主事 坪川 拓実			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4385			

事業の背景・目的

本県では過去2回(2011年、2015年)、競技志向の高いシニア世代の祭典として日本スポーツマスターズ大会を開催し、生涯スポーツの振興に寄与している。日本スポーツマスターズ大会によって醸成された、生涯スポーツの気運の高まりを継承し、本県の生涯スポーツの振興を図るとともに、広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実をめざす。

事業の概要

- 1 主 催 石川県
- 2 期 日 令和2年5月～6月(中心開催期間)
- 3 参加者数 約20,000名
- 4 内 容

(1) 総合開会式および著名な講師によるスポーツ交流教室等※

(「いしかわ県民スポーツの日」記念イベントと併催)

- 期 日： 令和2年4月26日(日)
- 会 場： いしかわ総合スポーツセンター
- 参加団体： 種目団体、市町参加者
- 内 容： 開会宣言
大会長(知事)あいさつ
選手宣誓
(総合開会式終了後)
いしかわスポーツマイレージ事業のPRイベント
オリンピック・パラリンピックの競技等の体験教室
著名な講師を招いた県民参加の企画
健康づくりプログラム(運動能力測定等)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

(2) 種目別大会 グラウンドゴルフ他44種目

大会活性化のための取り組み(トップ選手との交流、初心者向けの体験会等(10種目団体))

(3) ニュースポーツ体験広場・協賛大会

- 開 催 地： 開催希望市町および総合型地域スポーツクラブの設立されている地域
- 主管団体： 市町スポーツ担当および総合型地域スポーツクラブ(14クラブ)
- 実施種目： ニュースポーツ体験、親子スポーツフェスティバル、スポーツ講演会など

施策・課題の状況					
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A		
課題	生涯スポーツ活動の推進				
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)		単位	人
	目標値	現状値			
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	400,000	351,845	372,240	396,776	419,820
		令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度
		424,295	424,295	424,295	424,295

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	10,000	10,000	10,000	10,000	8,000
	決算	9,655	9,774	9,511	9,244	2,148
一般	予算	7,591	7,591	7,591	7,591	5,795
財源	決算	7,246	7,377	7,573	7,529	1,618
事業費累計		226,732	236,506	246,017	255,261	257,409

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役立ったか)	A
	左記の評価の理由 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により多くの種目別大会が中止となったものの、令和2年度までの累計参加者数が40万人という目標は達成した。また、各大会主管団体に感染防止対策を徹底したうえでの大会実施について働きかけを行っており、県民のスポーツ活動再開に向けた機運醸成という面でも、一定の効果があつたと考えている。 <参加人数> R2:4,475人(R1までの4年間は毎年2万人超)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続
	県民のスポーツライフの充実を目指すため、県民の誰もが気軽に参加できる大会として、継続して開催する。また、大会の活性化を図るため、参加団体・市町数の増加や参加者の増加のための広報活動に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわスポーツマイレージ事業費	事業開始年度 根拠法令 ・計画等	H30 第2期 石川の教育振興基本計画	事業終了予定年度

作 組 織	スポーツ振興課
成 職・氏名	主事 増井 しほ
者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4385

事業の背景・目的
 県民のスポーツに親しむきっかけづくりや継続して運動に取り組む習慣づくりを促進するため、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの活動をポイント化し、多様なスポーツ活動をサポート支援する。

事業の概要
 1 内容
 スマートフォンアプリの運用
 ウォーキング等のスポーツを「する」ことのみならず、観戦等のスポーツを「みる」ことやボランティア等のスポーツを「ささえる」こともポイント化するスマートフォンアプリを開発し、貯まったポイントを利用して、特典を得られる抽選を実施する。

主な機能・利用方法

- ・スマートフォンの歩数計機能を活用し、計測した歩数をポイント化する
- ・スポーツの大会、イベント会場に設置されたQRコードを読み取ることでポイント付与
- ・貯めたポイントを使って、抽選を実施
- ・「5日連続5000歩」といった短期的な課題を達成すると、先着で景品がもらえる期間限定キャンペーンの実施
- ・アプリのGPS機能を使った試合観戦によるキャンペーンの実施(通年)

協賛企業について
 飲料メーカー、食品メーカー、スーパーマーケット、ドラッグストアなどが協賛企業(14企業・団体)となり、景品の提供や広報について協力いただいている。

スマートフォンアプリの機能強化

- ・友人・企業同士の歩数をランキングで表示する「グループ内ランキング」とグループ構成員の平均歩数を競う「グループ対抗ランキング」の実装

施策・課題の状況					
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A		
課題	生涯スポーツ活動の推進				
	指標	アプリのダウンロード数	単位	件	
	目標値	現状値			
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	20,000			5,362	13,197
				17,159	
事業費					
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算			8,000	3,000
	決算			8,305	2,800
一般	予算			8,000	3,000
財源	決算			8,305	2,800
事業費累計		0	0	8,305	11,105
				16,011	
評価					
項目	評価	左記の評価の理由			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	成果指標であるアプリのダウンロード数は、令和2年度末までに2万件という目標を達成できなかったものの、ポイントを用いた抽選の際には、当選した利用者からは運動継続のご褒美になるといった喜びの声や、今後のモチベーションにつながるという声も多数寄せられており、継続的な運動習慣づくりに寄与している。			
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	令和3年度は、スマートフォンのGPS機能を利用して実在するウォーキングコースとチェックポイントを地図上に表示させる「いしかわまるごとウォークチャレンジ」機能をアプリに追加し、家族や友人などと身近な場所での運動を促し、まずは当初の目標であったダウンロード数2万件の達成を目指す。また、利用者からの意見等を参考にしつつ新機能やキャンペーンを開発し、さらなる利用者の獲得を通じて、多様なスポーツ活動を支援していく。			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわトップスポーツチーム 地域貢献協働推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	主事 増井 しほ		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1392 内線 4385

事業の背景・目的

スポーツ振興を核とする包括的連携協定を締結した県内トップスポーツチーム(7チーム)と連携して、親子向けイベントの開催やスポーツ教室等を行うことで、県民全体のスポーツに対する応援気運を醸成し、スポーツの裾野拡大や競技力向上を図る。

○協定締結先

ツエーゲン金沢(サッカー)、石川ミリオンスターズ(野球)、金沢武士団(バスケットボール)、北國銀行ハンドボール部Honey Bee、PFUブルーキャッツ(バレーボール)、金沢学院クラブ(バドミントン)、ヴインセドール白山(フットサル)

○連携内容

- (1) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催
- (2) 国体等に向けた競技力の向上のための練習会等の開催
- (3) 試合や地域貢献活動に関する広報等の実施による県民をあげた応援気運の醸成
- (4) 首都圏など大都市圏から石川県への観光誘客に効果的なPRの実施
- (5) その他、石川県政の施策、事業との連携など

事業概要

- (1) スポーツチームとの交流イベント(いしかわスポーツキッズフェスタ)の開催

実施主体 実行委員会
内 容 親子を対象としたスポーツの体験・チームとの交流イベント

- (2) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催

実施主体 各チーム
内 容 小中学生対象のスポーツ教室や職業講話
スポーツクラブ等対象の教室

- (3) 国体等に向けた競技力向上支援

実施主体 各チーム
内 容 指導者対象講習会開催、選手との合同練習

- (4) 気運醸成のための冊子作成

東京オリンピック・パラリンピックに出場する本県ゆかりの選手や本県聖火ランナーへのインタビュー等をまとめた冊子を作成し、「いしかわスポーツキッズフェスタ」等で配布

施策・課題の状況					
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A		
課題	生涯スポーツ活動の推進				
	指標	交流イベント参加者		単位	人
	目標値	現状値			
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1,000			3,500	1,000
				1,200	

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算			9,000	8,000	10,200
	決算			6,725	7,666	6,795
一般財源	予算			9,000	8,000	10,200
	決算			6,725	7,666	6,975
事業費累計		0	0	6,725	14,391	21,186

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	A	<p>包括連携協定を締結した県内トップチーム7チームの選手等との交流・スポーツ体験イベント「いしかわスポーツキッズフェスタ2020」を11月に新型コロナウイルスの感染対策のため事前申込制で開催したが、定員を上回る申込みがあり、当日は定員どおりの1,200名が参加した。</p> <p>また、昨年度より1校多い41校(小学校33校、中学校8校)においてスポーツ教室、職業講話を開催し、スポーツの裾野拡大を促進するとともに、スポーツを通じた各チームの地域貢献活動の一助にもなった。</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>参加者のアンケートなどを元に内容を工夫し、本事業を通してさらなるスポーツの裾野拡大を図っていく。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	選手強化事業費	事業開始年度	S38	事業終了予定年度	
		根拠法令	第2期 石川の教育振興基本計画		
		計画等			

組織	スポーツ振興課
職・氏名	課長補佐 浅田 崇一
電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4379

事業の背景・目的
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「茨城国体」での天皇杯得点順位35位を踏まえ、短・中期的な計画のもと、更なる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

事業の概要
1 選手強化事業
国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(1)成年強化事業
ア基礎強化 対象者 41競技785人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)
内容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等
イ重点強化 対象者 過去2回(73,74回)の国体で実績ある競技団体
内容 北信越大会で実績のある競技団体
ウ特別強化 対象者 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等
内容 北信越大会を突破した競技団体(1位突破した競技団体に重点配分)
内容 北信越大会でふるさと選手を活用して優勝した競技団体
内容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(2)少年(中・高)強化事業
ア基礎強化 対象者 38競技667人(監督・コーチ・強化選手)
内容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等
イ重点強化 対象者 過去2回(73,74回)の国体で実績ある競技団体
内容 北信越大会で実績のある競技団体
ウ特別強化 対象者 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等
内容 北信越大会を突破した競技団体(1位突破した競技団体に重点配分)

2 ジュニア選手育成事業
将来、国民体育大会および全国大会等において優秀な成績を収めるために、全国大会で実績を挙げている競技団体を指定し、有望な小・中学生を育成・強化する。
対象：中央競技団体主催の小・中学生全国大会で、好成績を収めた競技団体を指定(指定16競技団体)
水泳、ボート、カヌー、ボウリング、陸上、体操、レスリング、ウエイトリフティング
ハンドボール、ソフトテニス、卓球、相撲、柔道、バドミントン、ライフル射撃
トライアスロン

3 体育団体組織強化事業
国体で実施される正式競技以外の競技団体に補助金を助成し、組織及び選手強化を図る。
対象：15団体
綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	C
課題	競技力向上対策					
	指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
	20位台以内	36	28	23	35	中止

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
事業費	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	192,366	192,750	192,900	191,713	141,825
一般	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	192,366	192,750	192,900	191,713	141,825
財源	決算	192,366	192,750	192,900	191,713	141,825
事業費累計		6,749,337	6,942,087	7,134,987	7,326,700	7,468,525

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北信越国体、鹿児島国体が中止となった。スポーツ活動が再開してからは、県や各競技団体の感染拡大予防ガイドライン等に基づきながら、R3年度の三重国体に向け、強化に取り組んだ。 なお、R1年以前の過去10年間は7度20位台以内を確保しており、県体協や競技団体と連携して、本県スポーツの競技力の向上に向けた選手強化が図られている。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	国際大会、全国大会等での選手の活躍は、県民に感動や勇気を与えることより、競技力の向上はスポーツ振興に欠かせない。各県の競技力を競う国体においては、過去の実績や選手の現状分析に基づき、メリハリのある強化費を配分し、各競技団体と連携して競技力の向上を図り、R3三重国体では目標の20位台復帰を目指す。

※ふるさと選手
成年種別に出場する選手は、次のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。(1)居住地を示す現住所 (2)勤務地
(3)ふるさと 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高校生強化事業費	事業開始年度 H4	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	第2期石川の教育振興基本計画

作組	織	スポーツ振興課			
成職	氏名	専門員 西村 剛			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4380			

事業の背景・目的
 全国高体連が主催又は共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

事業の概要
 1 指定期間
 令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 指定方法
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定

3 指定基準及び指定数

- 【強化指定事業】**
 <団体>
 A指定 (5校5競技6運動部)
 平成30年度、令和1年度いずれも、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること
 B指定 (25校22競技34運動部)
 平成30年度、令和1年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること
 C指定
 令和2年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること
 <個人>
 A指定 (4校4競技5運動部)
 平成30年度、令和1年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、令和2年度に当該校に在籍していること
 B指定 (2校3競技3運動部)
 平成30年度、令和1年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、令和2年度に当該校に在籍していること
 <駅伝強化>
 令和2年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること

【重点強化事業】 (8校8競技10運動部)
 別途指定した競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

【全国総体特別強化】
 令和2年度、令和3年度全国高等学校総合体育大会において、本県で開催されるバスケットボール競技、自転車競技、バレーボール競技、ソフトテニス競技、剣道競技、なぎなた競技の強化を図るため、県高体連該当専門部が、有力チーム、有力選手を指定し、県外合宿等を実施

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	C
課題	競技方向上対策					
	指標	国民体育大会男女総合成績			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
	20位台以内	36	28	23	35	中止

事業費						
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
事業費	予算	20,000	20,000	20,000	20,800	22,200
	決算	20,000	20,000	20,000	20,800	19,870
一般財源	予算	20,000	20,000	20,000	20,800	22,200
	決算	20,000	20,000	20,000	20,800	19,870
事業費累計	610,000	630,000	650,000	670,800	690,670	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2インターハイ、国体は中止となったが、R2全国高校選抜大会で好成績を収めており、県内高等学校運動部活動の強化が図られている。 ・全国高校選抜大会における高校生の入賞数の増加 団体 H30:5 → R2:7 ※R1:中止 個人 H30:10 → R2:19 ※R1:中止
	継続	全国大会で実績を挙げている運動部を重点的に強化することは、部活動の活性化はもとより、国体少年種別の強化につながる。また、R3年度全国高校総体において、本県で開催される4競技(バレー、ソフトテニス、剣道、なぎなた)の重点的な強化を図る。 【R3強化指定校】 24校24競技42運動部 【R3重点強化指定】 7競技10運動部23名 【R3全国高校総体特別強化指定専門部】 県高体連バレーボール専門部、ソフトテニス専門部、剣道専門部、なぎなた専門部
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化事業費	事業開始年度	H5	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ振興課	
		根拠法令 ・計画等	第2期石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	専門員 高田 哲洋	
							者 電 話 番 号	076 - 225 - 1392 内線 4380

事業の背景・目的
 全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に育成・強化し、競技力の向上を図る。

事業の概要

1 強化事業

(1) 実施競技
 県中学校体育連盟に加盟の18競技
 陸上、水泳、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、軟式野球、体操、新体操、バレーボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、スキー、弓道

(2) 対象
 県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3) 内容
 県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費
 県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1) 実施競技
 重点強化競技に指定した5競技(相撲、水泳(飛込)、ハンドボール、柔道、スキー)

(2) 対象
 将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待できる選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3) 内容
 科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費
 科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	C
課題	競技力向上対策						
	指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)				単位	順位
	目標値	現状値					
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
	20位台以内	36	28	23	35	中止	
北信越総体	優勝	目標	34	34	34	34	
数	実績	24	26	29	中止	中止	
事業費							
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	5,065	
一般	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	5,065	
事業費累計		150,634	158,134	165,634	173,134	178,199	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北信越中学校総合大会及び全国中学校体育大会は中止となったが、令和2年度の重点強化に指定したスキーが全国代替大会で優勝した。また、コロナ禍においても、感染防止策を講じながら県中学校体育連盟と連携し、令和3年度の北信越中学校総合競技大会及び全国中学校体育大会に向け強化に取り組むことができた。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	中学生の強化は、本県における各競技団体の競技力の底上げとなる。また、国体において中学3年生が参加できる競技が半分程度あり、チーム石川の競技力向上のためにも本事業の継続が必要である。引き続き県中体連と連携し、将来の少年種別の選手育成も見据え中学生の育成・強化を図る。特にR3年度は、全国大会で活躍が期待される相撲、水泳、柔道、スキーの4競技を重点的に強化する。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 科学的トレーニング特別強化事業費	事業開始年度 H20	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 第2期 石川の教育振興基本計画	

作 組 織	スポーツ振興課
成 職・氏名	専門員 高田 哲洋
者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4380

事業の背景・目的
国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手81名
- 2 内容
 - (1) 基礎体力測定・専門測定を年2回実施し、トレーニング処方を作成。
トレーニング処方に基づいた、実践指導やコントロールテストを適宜実施。
 - ①基礎体力測定
 - ②専門測定・分析
 - ③トレーニング処方作成・提示
 - ④トレーニング実践指導
 - ⑤コントロールテスト
 - (2) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導(年3～4回)
 - ①強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりやスポーツマッサージの指導
 - ②健康管理、及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導
 - (3) 講師招聘による研修会(年2回)
 - (4) 国立スポーツ科学センターとの連携(適宜)
- 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	C
課題	競技力向上対策					
	指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
	20位台以内	36	28	23	35	中止
事業費						
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
事業費	予算	2,500	2,500	2,000	2,000	2,000
	決算	2,500	2,500	2,000	2,000	1,770
一般財源	予算	2,500	2,500	2,000	2,000	2,000
	決算	2,500	2,500	2,000	2,000	1,770
事業費累計		24,240	26,740	28,740	30,740	32,510
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い鹿児島国体は中止となったが、本事業の指定選手が各種大会等で実績をあげている。 主な実績等 ・ハンドボール:全日本選手権 優勝、日本リーグ 優勝 ・陸上競技:全国高校大会 2名が優勝 ・ボート:全日本学生選手権 準優勝 ・東京オリンピック代表選手 ハンドボール 5名 水球1名				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	競技団体の要望や各種競技の特性を踏まえ、専門家による科学的根拠に基づいたトレーニング指導により、効率的に競技力の向上を図っていく。 競技団体から好評である、現場で活かせるトレーニング講習会を開催し、指導者・選手に最新のトレーニング理論の普及を図る。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわジュニアアスリート発掘事業費	事業開始年度 H30	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課 成 職・氏名 専門員 西村 剛 者 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380
	根拠法令・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画	

事業の背景・目的
最新機器を活用した運動能力測定会や、各競技団体によるスポーツ見本市(簡易スポーツ体験会)を開催し、子どもたちが自分の可能性に気づき、未来のアスリートとして成長するきっかけを作ること、本県スポーツの裾野の拡大と競技力の向上につなげる。

事業の概要

- 1 対象 県内小学生1年生から6年生
- 2 内容
 - (1)運動能力測定会
 - ・最新機器を活用して6種目の運動能力を測定し、64種目の中から自分の適性に合った10種目のスポーツを提示
 - ・専門スタッフによる、個々に応じたトレーニングのアドバイス
 - (2)スポーツ見本市
 - ・県内競技団体が実施する簡易スポーツ体験コーナー。興味・関心のあるスポーツや測定データから自分に合ったスポーツを自由に体験する。
- 会場 いしかわ総合スポーツセンター、七尾総合市民体育館
- (3)スポーツ体験教室
 - ・県内競技団体が実施する体験教室。
- 会場 各競技団体の拠点場所
- (4)育成プログラム
 - ・トレーニング指導
 - ・栄養講座
 - ・メンタルトレーニング
- 対象者 運動能力測定会に参加した県内小学3年生から6年生の児童とその保護者(定員:30名)
- 会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	C
課題	競技力向上対策					
指標	運動能力測定会参加人数			単位	人	
目標値	現状値					
令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
600			320	605	294	
事業費						
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
事業費	予算		3,000	2,400	2,400	
	決算		2,345	2,085	3,608	
一般財源	予算		3,000	2,400	2,400	
	決算		2,345	2,085	3,608	
事業費累計		0	2,345	4,430	8,038	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施し、運動能力測定会には、294名(R1:605名)の児童が参加した。運動能力測定会を通して、児童が自分の適性を知ることができ、様々なスポーツに興味を抱くことにつながっている。 ・運動能力測定会 定員人数の縮小(R1:金沢400名→R2:金沢 210名)(R1:七尾200名→R2:七尾 120名) ・スポーツ見本市 → 中止 ・スポーツ体験教室実施状況 R2:7競技 (R1:12競技) 柔道、ボクシング、フェンシング、ウエイトリフティング、アーティスティックスイミング、スポーツクライミング、レスリング				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	運動能力測定会の参加児童への事後アンケートでは、約9割の児童が「楽しかった」と回答し、高評価を得ている。今後も競技団体と連携して、様々なスポーツを体験できる機会を一体的に開催することにより、本県スポーツの裾野の拡大と競技力向上を図る。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわアスリートキャリアサポート事業費	事業開始年度 H30	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課
	根拠法令 ・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画	成 職・氏名 専門員 西村 剛 者 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380

1 事業の目的
有望なアスリートと競技の継続をサポートする県内企業のマッチングを支援することで、本県のスポーツの競技力向上とアスリートの県内就職を促進する。

2 対 象
(1) 選 手
・国体実施競技の競技団体から推薦を受けた者
・石川県内での就職を希望する者
・国体出場レベルの競技力を有し、就職後も競技を継続する意思を有する者
・大学生及び社会人(石川県出身者に限らない)

(2) 企 業
県内に本社または事業所を有し、全国大会等で活躍が期待される選手を採用する意志があり、競技活動への理解と協力(※)ができる企業とする。
※・平日に練習がある日は残業をさせない。
・休日に遠征があり、仕事が入っている場合は勤務のシフトを変更する。
・国体等の大会に長期間出場する場合は、優先的に有給休暇をとれるようにする。

3 事業内容
(1) 協力企業のリストアップ
(2) 県内就職を希望する選手のリストアップ
(3) スポーツ振興課や行政経営課のHPで企業情報の提供
(4) 競技団体・選手との相談
(5) 就職試験に係る交通費の補助
(6) いしかわ就職フェアへの参加

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	C			
課題	競技力向上対策					
指標	県内企業へのアスリートの就職数		単位	人		
目標値	現状値					
令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
10			5	5	5	
事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
事業費	予算			500	800	640
	決算			30	10	137
一般財源	予算			500	800	640
	決算			30	10	137
事業費累計			0	30	40	177
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	いしかわ就職フェアへの参加促進やアスリートの採用に関心のある企業情報の提供、個別対応により、令和2年度における支援対象者25名のうち5名が県内企業へ就職。 実際に採用した企業からは、「スポーツに情熱を傾けた人は礼節やチャレンジ精神などが備わっており、人間的に優れた方が多く、他の社員にも良い影響を与えてくれており、良い人材を確保することができた。」等の声が聞かれ、評価を得ている。 協力企業数(R1:64社→R2:66社)				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	アスリートを採用した企業の高評価を他の企業に伝え、魅力ある企業の更なる発掘を図りながら、企業情報、いしかわ就職フェア等のイベント情報を広く発信していく。 また、行政経営課の「いしかわ民間タイアップ事業」と連携し、本事業の更なる活用、拡大を図る。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 障害者アスリート支援事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課 成 職・氏名 専門員 高田 哲洋 者 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380
	根拠法令・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画	

事業の背景・目的
 障害者アスリートに対し、国際大会及び国内大会に出場するために必要な費用や、中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援することにより、選手の競技力の向上を図ることを目的とする。

事業の概要

1 内 容

- (1) 国際大会や全国大会に出場するために必要な費用を支援
- (2) 中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援
- (3) (1)と(2)に要する交通費、宿泊費、参加負担金、競技用具運搬費、保険料の補助

2 対 象

次の(1)～(3)すべてに該当する選手及びその介助者(1名まで)

- (1) 石川県出身者(石川県内の中学校又は高等学校の卒業者)または、現在、石川県内に住所を有する者
- (2) 石川県障害者スポーツ協会から推薦を受けた者
- (3) 過去5年間に国際大会か全国大会で入賞したことがある、または、当該年度に中央競技団体が指定する日本代表選手若しくは強化選手であり、今後も活躍が期待できる者

3 補助金額

- (1) 国際大会
 対象者が支払った対象経費の合計額(1大会当たり上限は10万円)
- (2) 全国大会
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1大会当たり上限は10万円)
- (3) 中央競技団体が実施する強化練習・合宿
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1回当たり上限は11万円)

※(3)は中央競技団体から日本代表選手として指定されている選手のみ

4 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	C
課題	競技力向上対策					
	指標	申請件数			単位	件
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
	20		8	12	25	7
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
事業費	予算		1,100	1,070	2,000	2,000
	決算		709	336	604	36
一般財源	予算		1,100	1,070	2,000	2,000
	決算		709	336	604	36
事業費累計			709	1,045	1,649	1,685
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和2年度はコロナウイルス感染拡大のため、多くの大会や強化合宿が中止となり、本制度の活用数は例年より少なくなったが、活用した選手、チームは好成績を収めており、本制度の活用が選手の競技力の向上の後押しにつながっている。 ・ボッチャ:東京パラリンピック日本代表決定 ・デフバスケットボール:全日本大会2位				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	R3年度より、県内に所属を有するアスリートを補助対象者に加え事業の拡大を図る。 今後も、県障害者スポーツ協会や関係競技団体と連携し、高みを目指す障害者アスリートを後押しする。				